

道民意向調査

企業・団体・NPO 意向調査

# 調 査 票

(抜粋)



## 質問項目

これからの北海道についてお聞きします。

問1 北海道総合計画は、めざす姿として「輝きつづける北海道」を掲げ、その具体的な姿として、次の「7つの将来像」を掲げています。ここでは、各将来像についてお聞きします。



(1) 将来像①「子育て環境・最適地」について、今後、特に力を入れるべき項目を **3つ選択** してください。

1 安定的な所得や働き方に見合った就業環境の確保	ご回答欄
2 子育てへの経済的な不安の解消	
3 安心して妊娠・出産できる医療体制の構築	
4 妊娠から出産・子育てにわたる相談支援体制の充実	
5 子どもの健やかな成長を見守る社会づくり	
6 その他 ( )	

将来像 1

地域全体で支える「子育て環境・最適地」

～美しい大地で次代を担う子どもたちを育む地域社会を形成している姿～

ポイント

- 仕事と家庭の両立支援
- 子育て世帯への経済的支援
- 身近な地域で安心して妊娠・出産できる環境づくり など

(2) 将来像②「安全・安心社会」について、今後、特に力を入れるべき項目を**3つ選択**してください。

1 女性、若者、高齢者、障がいのある方々などの安定した雇用の確保	ご回答欄
2 地域医療の確保や救急医療体制の充実	
3 高齢者や障がいのある方々が住み慣れたまちで元気に暮らせるまちづくり	
4 安心の医療・介護体制	
5 高齢者の生活に必要な買い物や通院などに対する支援	
6 防災・減災対策など、強靱な北海道づくり	
7 その他 ( )	

**将来像 2**



**北国で心豊かに暮らせる 安全・安心社会**  
～日々の暮らしと将来の安全・安心を実感している姿～

**ポイント**

- 雇用のミスマッチの解消と正規雇用化
- 地域医療を支える医療従事者の確保と福祉・介護人材の確保・定着
- 地域づくりの向上による防災・防犯体制づくり など

(3) 将来像③「環境先進モデル・北海道」について、今後、特に力を入れるべき項目を**3つ選択**してください。

1 人と自然、生き物がともに生きる社会づくり	ご回答欄
2 省エネライフスタイルの定着	
3 太陽光、風力、地熱、雪氷冷熱やバイオマスなど多様なエネルギーの導入	
4 低炭素社会の取組	
5 リサイクル産業など環境ビジネスの展開	
6 その他 ( )	

**将来像 3**



**豊かな自然と共生する  
「環境先進モデル・北海道」**  
～世界が注目する環境とエネルギーのバイオニアとなっている姿～

**ポイント**

- 生物多様性の保全と豊かな自然からの恵みの持続可能な利用
- 低炭素型ライフスタイルへの転換
- エネルギー自給・地域循環システムの構築 など

(4) 将来像④「北海道ブランド」について、今後、特に力を入れるべき項目を **3つ選択** してください。

1 海外マーケットでの北海道産食品の定着	ご回答欄
2 本道独自の文化や本道発のデザイン、芸術、環境などの海外への発信	
3 本道ならではの多彩なツーリズムの展開	
4 観光客の満足度の向上	
5 その他 ( )	

**将来像 4**



**世界に広がる“憧れのくに”北海道ブランド**  
 ～多彩な北海道の価値を活かし、海外の成長力を取り込んでいる姿～

**ポイント**

- 海外の成長力の積極的な取り込み
- 食や観光など北海道のブランドイメージのPR強化
- 様々な地域資源の活用や観光基盤の充実 など

(5) 将来像⑤「地域経済の循環」について、今後、特に力を入れるべき項目を **3つ選択** してください。

1 道産食品の消費や道産木材の利用の拡大	ご回答欄
2 地域資源や新技術を活用した道産品の高付加価値化	
3 地域の特性を活かした新エネルギーの開発・導入	
4 福祉サービスと雇用の結びつきによる、地域経済の好循環	
5 地域の多様な主体が協力して起業や事業承継を促進	
6 商店街など身近な商業機能の確保	
7 企業誘致、本社機能や生産拠点の移転・立地の推進	
8 その他 ( )	

**将来像 5**



**北海道の潜在力を活かす 地域経済の循環**  
 ～多様な連携により、付加価値が高まり、地域内で資源・ひと・経済が循環する姿～

**ポイント**

- 農林水産業の生産力・競争力強化
- 産業間連携の強化によるものづくり産業の振興
- 恵まれた自然や住環境、食の安全・安心といった本道の魅力や強みの発揮 など

(6) 将来像⑥「豊富な人材」について、今後、特に力を入れるべき項目を**3つ選択**してください。

1	子どもたちの学力・体力の向上、北海道らしい教育の推進	ご回答欄
2	若者が世界にチャレンジできる環境整備	
3	家庭や地域、職場など社会のあらゆる分野での女性の活躍	
4	先端技術の開発やものづくりなどの伝統技術の継承	
5	積雪寒冷地ならではの農業や住宅などに関する研究や技術の促進・普及	
6	その他（ ）	

**将来像 6**



**北の大地を力強く切り拓く 豊富な人材**  
～本道特有の精神・風土が人を育て、培われた技術が守られ、活かされている姿～

ポイント

- 本道の特性を踏まえた学校教育の一層の充実
- 世界で活躍できる人材の育成
- ポテンシャルを活かした科学技術の振興 など

(7) 将来像⑦「個性あふれる地域」について、今後、特に力を入れるべき項目を**3つ選択**してください。

1	文化、スポーツ活動の振興など地域の特性に即した取組の展開	ご回答欄
2	近隣の市町村が連携した、医療、福祉、産業などの行政サービスの展開	
3	移住者や二地域居住者の増加	
4	アイヌの人たちの歴史や文化の共有	
5	その他（ ）	

**将来像 7**



**北海道ならではの 個性あふれる地域**  
～地域の魅力を実感し、我がふるさとに誇りと愛着を持てる地域社会が形成されている姿～

ポイント

- 個性と魅力を活かし様々な連携で支え合う地域づくり
- 居住環境の魅力を活かした移住・定住の促進
- 独自の歴史や文化の発信による地域の魅力向上 など



(2) 視点②「**北海道の真価を發揮**」について、今後推進していく必要があると思うキーワードを選択してください。 **(複数回答可)**

1 東京圏一極集中の是正	ご回答欄 (複数回答可)	
2 寒地技術の高度化		
3 教育旅行		
4 移住・定住・多拠点居住		
5 企業誘致・ワーケーション <sup>※1)</sup> の推進		
6 観光立国北海道の再構築		
7 北海道ブランドの強化		
8 スマート農業 <sup>※2)</sup> 、林業イノベーション、水産資源の適正管理		
9 自動運転、M a a S <sup>※3)</sup>		
10 その他 ( )		

※1)ワーケーション：「ワーク」と「バケーション」を組み合わせた造語で、普段の職場を離れ、観光地やリゾート地などで休暇を楽しみながらテレワークなどで仕事もする「働き方」、「休み方」。

※2)スマート農業：ロボット技術やICTを活用して超省力・高品質生産を実現する新たな農業のこと。

※3)M a a S：Mobility as a Serviceの略。スマートフォンアプリにより、地域住民や旅行者一人一人の行動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせる検索・予約・決済を一括で行うサービス。

(3) 視点③「**社会の変革に挑戦**」について、今後推進していく必要があると思うキーワードを選択してください。 **(複数回答可)**

1 S D G s <sup>※4)</sup>	ご回答欄 (複数回答可)	
2 E S G 投資 <sup>※5)</sup>		
3 未来技術 (IoT、ビッグデータ、AIなど)		
4 脱炭素社会		
5 循環型社会		
6 ダイバーシティ <sup>※6)</sup> (多様性) の実現		
7 その他 ( )		

※4) S D G s：Sustainable Development Goalsの略。「持続可能な開発目標」のこと。2015（平成27）年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。

※5) E S G 投資：財務情報だけでなく、環境 (Environment) ・社会 (Social) ・ガバナンス (Governance) 要素も考慮した投資のこと。

※6)ダイバーシティ：「多様性」のこと。性別や国籍、年齢などに関わりなく、多様な個性が力を発揮し、共存できる社会のことをダイバーシティ社会という。

## 道民のみ

新型コロナウイルス感染症の生活面での影響についてお聞きします。

問3 新型コロナウイルスの感染拡大によるあなたの生活の変化のうち、一番大きな変化があったと思うものを選択してください。(2つまで回答可)

1 家庭・家族 (家族の対話が増加、家事の分担が進む 等)	ご回答欄
2 仕事・働き方 (テレワークやオンライン会議など、働き方の変化 等)	
3 人との交流 (オンラインやSNS等での交流の拡大 等)	
4 経済・家計 (通販やキャッシュレスの利用拡大 等)	
5 余暇・趣味 (新たな余暇や趣味での過ごし方 等)	
6 その他 ( )	

問4 新型コロナウイルスがもたらした生活の変化のうち、新型コロナウイルスの収束後においても定着していくと思う変化を選択してください。(複数回答可)

1 家庭・家族 (家族の対話が増加、家事の分担が進む 等)	ご回答欄	
2 仕事・働き方 (テレワークやオンライン会議など、働き方の変化 等)	(複数回答可)	
3 人との交流 (オンラインやSNS等での交流の拡大 等)		
4 経済・家計 (通販やキャッシュレスの利用拡大 等)		
5 余暇・趣味 (新たな余暇や趣味での過ごし方 等)		
6 その他 ( )		

## 全体を通じて

北海道総合計画の見直しに向けて、これまでの質問に関連することを含め、ご意見等があれば、記載してください。(自由記載)

--

**<貴社（団体）での取組>**

問3 新型コロナの感染拡大を受け、貴社（団体）の業務や活動に影響はありましたか。  
（1つのみ選択）

1	大幅なマイナス影響が発生した
2	一部のマイナス影響が発生した
3	現在はないが、今後マイナス影響が発生する見込み
4	プラス影響が発生、または発生する見込み
5	変化なし
6	わからない

※1～4の選択肢を選んだ方にお聞きします。  
具体的にどのような影響があったのか記載してください。

--

問4 新型コロナの感染拡大を受けた、貴社（団体）での働き方についてお聞きします。

(1) 新型コロナの感染拡大を受け、貴社（団体）では、働き方に関して、どのような取組を実施しましたか。（複数回答可）

1	在宅勤務を推進した
2	自宅以外でのテレワークを推進した
3	時差出勤を推進した
4	取引先等との会議や商談をオンライン方式にした
5	内部の会議や研修の回数を減らした
6	その他（具体的に： _____）
7	特に行わなかった

(2) ((1)で取組を実施したと回答された方)働き方に関する取組により、貴社（団体）にどのような変化がありましたか。（複数回答可）

1	出勤時間が減り、ワークライフバランスが改善した
2	効率化により残業が減った
3	職場内のコミュニケーション不足により業務に支障が出た
4	関係先、取引先との業務に支障が出た
5	その他（具体的に： _____）
6	特に変化はなかった

## 企業等のみ

(3) 新型コロナの収束後も貴社（団体）で継続していくと考えている働き方の変化はありますか。（複数回答可）

1	在宅勤務
2	自宅以外でのテレワーク
3	時差出勤
4	オンラインでの会議や商談など
5	その他（具体的に： _____）
6	特にない

問5 新型コロナへの対応の中、貴社（団体）において良かった面はありますか。（複数回答可）

1	社内のデジタル化が進んだ
2	働き方の見直しが進んだ
3	新商品や新サービスの開発に取り組んだ
4	他社（団体）との連携が進んだ
5	既存事業による売上が増加した（団体においては既存の取組が進展した）
6	業種転換や新規分野への参入の契機となった
7	その他（具体的に： _____）

問6 自然災害やブラックアウトへの貴社（団体）の対応についてお聞きします。

(1) 近年の台風や胆振東部地震といった自然災害やブラックアウトなどへの対応ではどのような点が課題となりましたか。（複数回答可）

1	職員の安否確認に時間を要した
2	停電や出勤者の減少などにより業務の継続が困難となった
3	物流の停滞により事業継続が困難となった
4	対外的な情報発信が困難となった
5	その他（具体的に： _____）
6	特に問題はおきなかった

(2) (1)の課題を受けて、どのような対応や準備をしていますか。（複数回答可）

1	組織における防災計画や体制を見直した
2	発電機など、防災資機材を新たに整備した
3	備蓄品の見直しや購入を行った
4	複数の情報発信の手段を確保した
5	職員や社員への防災研修を実施した
6	その他（具体的に： _____）
7	特に行っていない

## 企業等のみ

問7 日本政府は、2050年までに、温室効果ガスの排出をゼロにする、脱炭素社会の実現を目指す方針を示しました。貴社（団体）で脱炭素社会に向けて取り組んでいることをお答えください。（複数回答可）

1	オフィスで使用する電力の再生可能エネルギーへの変更
2	電気自動車や水素自動車への買い替え
3	テレワーク・オンライン会議の推奨
4	空調の負荷軽減を目的にクールビズやウォームビズの導入
5	職場における省エネ活動の徹底
6	その他（具体的に： _____ ）

問8 新型コロナという経験を踏まえ、環境問題など、世界的な課題への取組から生活に直結する課題まで、さまざまな動きが出ています。今後、貴企業（団体）として、特に力を入れようと考えている取組はありますか。（複数回答可）

1	SDGs（※）の推進
2	デジタル化や新技術の活用の推進
3	気候変動問題の解決に向けた、カーボンニュートラルの実現
4	ダイバーシティ（多様性）の実現
5	強靱化の取組
6	ワーケーションの推進
7	テレワークの推進
8	その他（具体的に： _____ ）
9	特にない

※SDGs： 2015年9月、「国連持続可能な開発サミット」において採択された持続可能な開発目標のことです。

北海道総合計画の見直しに向けて、貴社（団体）において、ご意見・ご要望があれば記載してください。